

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念にそって、その人らしい生活ができるよう介護にあたっております。	<input type="radio"/>	施設外での生活があまりない為、地域の中でその人らしい生活ができるよう、地域の方々と交流ができるよう支援していきたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入社時に理念を説明し、理解して頂いております。	<input type="radio"/>	入社後は、理念についての話し合いができていない為、今後は反省もかねて話し合いをしていきたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	パンフレットに記載してある・又、家族には入居時にお話をして理解してもらっている。	<input type="radio"/>	地域の方々へ理念を理解していただけるよう取り組んでいきたい。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	施設周辺を散歩した際や、買い物へ出かけた際などに、あいさつをするようにしている。	<input type="radio"/>	隣近所の方々が気軽に立ち寄ってもらえるようにしていきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の祭りに利用者ともども参加しています。また、施設の夏祭りには、毎年地元の人々を招待し、交流することに努めています。	<input type="radio"/>	地域活動の参加がなかなかできていないので、声がかかった時には、参加できるように努力していきたいです。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	現在のところ、そのような取り組みは行えていません。	○	地域の方々に喜んでいただけることを探し、話し合いをして、取り組めるよう努力していきます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を活かし、改善すべき点は改善するよう努力しています。		
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度、施行しており、サービス向上に活かしています。		推進会議での意見などは、全職員に報告し、サービスの向上に努めています。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議の際に、相談にのっていただいております。色々アドバイスを頂いております。	○	なかなか行き来する機会が少ないので、市町村担当者に指導を受けていきたい。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	必要とする利用者が活用できるよう、現在支援している最中です。	○	研修等に参加し、もっと勉強し、必要な方々に活用できるようにしていきたい。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修などへ参加し、報告してもらっている。カンファレンスを施行し、話し合い、施設内での防止に努めている。		職員間で話し合いをし、虐待防止に努めていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時(契約時)に家族・利用者に説明をし、理解していただいております。	利用者・家族と十分に話し合い・説明し、理解していただき同意を得ております。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者・家族より、苦情・不満・意見を話して頂くよう努力しております。又、苦情受付箱を用意しております。	○ 面会の時など、なにげない会話の中からお話を聞いていけるようにしていきたいです。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時や、状態に変化があった場合など、個々に合わせた報告をしていますが、定期的なものではありません。	○ ホーム便りを作成するなど、それ以外にも定期的な報告をしていきたいです。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明に記載してあります。苦情受付箱を設け、意見・不満・苦情を書いて投函して頂いております。	○ 不満・意見・苦情等が寄せられた時は、カンファレンスを開き、原因を考え介護の質の向上に努めたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議やその都度声かけし、職員の意見などを聞くようにしております。	色々の意見を聞くことができるので、会議や声かけを多くし、職員の意見や提案を反映させていきたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	GH以外の職員(事務職員など)の手を借りられるように事前の話し合いや調整には出来るだけ努めている。	○ より入居者の希望に対応できるよう、スタッフの確保に努めていきたいです。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新しく入職したスタッフばかりに偏らないよう、できるだけシフトは新旧職員が重なるように組み、利用者と新しい職員とがスムーズに関われるように配慮している。	○	離職者がでないよう努力していきたいです。利用者のダメージを防ぎ心豊かに生活できるよう介護していきたいです。
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	希望をとり、研修へ参加している又研修後は、全員の研修内容を発表している。	○	色々な研修へ参加し、サービスの質の向上がはかれるようにしていきたいです。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	なかなか交流する機会を持てずにいます。	○	地域のネットワークづくりはなかなか難しいので、交流を多くもち、ネットワークづくりできるよう努めたい。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員より、不安や不満がないか日ごろより声かけをしております。	○	不安・不満がでないような環境づくりを心がけています。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	1年に一度、1人1人面談をし、色々と話しを聞くなどしている。研修などへも参加するようながしている。		スタッフが研修などへ参加し、質の向上につなげていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用申し込みがあった際には、事前に自宅などへ訪問し、よく話しをうかがうようにしております。	○	入所前に面談をし、お話しをよく聞き、安心して入所していただけるよう努めていきたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用申し込みがあった際には、事前に自宅などへ訪問し、よく話しをうかがうようにしております。		家族の話しをよく聴き、一番に求めていること・不安なことを受け止められるよう、努めたいです。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その方にあったサービス利用などの助言をしております。		入所してしまうと、何でも支援してほしいと思っている方が多い為、話し合いをし、必要に応じた対応をしていきたいです。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	常時、本人及び家族の見学を受け入れています。	○	ホームの雰囲気に慣れていただく為、体験入所などをしていただけるようにしたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	お茶の時間・余暇の時に、色々なお話をし、昔のことなどを教えていただいております。	○	介護度が重度の方に対しても、一方的な介護にならぬようにしていきたいです。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時などに本人をどのように支援していくか話し合っております。	○	面会時だけでなく、コミュニケーションをとれるようにし、一緒に介護について考えていきたいと思っております。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時間を決めず、いつでも来所していただけるようにしております。又、外出・宿泊も可能になっており、家族と過ごしていただけるようになっております。	○	家族の行事への参加の声かけをもっと積極的にし、今後は、参加していただけるよう、計画をたてていきたいと思っております。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人の面会も多くあり、交流がもてている。	○	本人の馴染みのある場所への外出ができるように支援していきたいです。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	日中は、孤立しないよう極力、和室や食堂にて過ごして頂くよう声かけしております。		入居者だけでは話しかみあわないことも多いので、スタッフが間に入り、独りにならないようにしております。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後は、なかなか関係が続いていないことが多い。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の希望・意向の把握時に努めています。	○	入居者1人1人の訴えをよく聞き、本人の望む生活ができるよう支援してまいります。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、アセスメントを大切にし、個々の生活に役立てている。	○	入居時のみではなく、家族や本人より話しをよく聞き、これからの生活に役に立ててまいります。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居者の方々の様子を見て、その日の心身状態に応じた対応をしております。		施設に入居していると、マンネリ化した生活になってしまう。個々の精神状態・心身状態の把握をし、その人にあった生活ができるよう支援してまいります。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	カンファレンスを開き、入居者の方々が、より良い生活が送れるよう、介護計画を作成しております。		1ヶ月に一度のカンファレンスの際に、スタッフ全員で話し合いをしております。1人1人にあった、介護計画を作成しております。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態に応じて計画を作成しています。		6ヶ月での見直しをし、再アセスメントし、ケアプランを作成しております。状態の変化がみられた時は、その都度、プランの変更などをしてまいります。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録・連絡ノートなどに記入しております。	○	日々の記録では、日中の様子の記入が少ないので1人1人の様子をたくさん記入できるようにしていきたいです。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	特に行っておりません。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	避難訓練の際、地域の消防・住民の方々に協力を得ている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のサービス利用の際は、支援を行っております。		他のサービスを利用する際は、家族・他の事業所などと相談し、本人が一番よいサービスができるように支援していきます。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとの協働はしていないが、権利擁護に関して、社協との協働はしている。	○	必要な入居者ができたときは、包括支援センターのお世話になりたいと思います。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		主治医と相談し、入居者にあった治療ができるように支援していきます。
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		看護職員と相談ができる為、入居者の健康管理はできている。
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		入院した病院と連絡をとり、情報交換し、退院後、安心して過ごせるように支援したいです。
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	終末期についての勉強をし、家族・本人の希望を聞き、かかりつけ医とよく話し合い、方針を共有していきたいです。
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	かかりつけ医と相談し、かかりつけ医・家族・スタッフが一丸となり、最良の支援ができるようにしたいです。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	情報提供書を作成し、情報交換をしております。		入居者が住み替え後に不安にならないよう、情報を提供しております。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	常に入居者ひとりひとりに合った声かけ、人格を尊重するようなケアを心掛けています。		入居者にあつた声かけケアを行っております。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	傾聴の姿勢を大切にし、分かりやすい言葉で話すように努めています。	○	入居者より訴えることが少ないので、何を希望しているか、会話を多くし、読み取れるようにしていきたいです。
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者のスペースでの対応を心掛けているが、職員のペースになりがちなところもある。	○	職員不足の時など、職員寄りのペースで行ってしまうことがあるので、入居者のペースで対応できるようにしていきたいです。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	希望のある利用者に対しては、本人の望む美容院・理髪店へお連れしています。また、それが困難な方のために美容師さんに来所してもらっています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		入居者の方々の好むおやつ、飲み物等を提供しております。
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	やむを得ず、夜間オムツを着用の方も、日中は紙パンツ使用でトイレにて排泄できるよう支援しています。
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		入居者の皆様、夜間安心して気持ちよく休まれております。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	少しのことで、できれば一緒に行い、役割・楽しみがもてるよう支援していきたいです。


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の力に応じて、金銭管理していただいています。		
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりの希望に沿うのは難しいが、天気の良い日は、散歩や買い物へ行けるよう支援している。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族の協力のもと、外出できるとう支援しています。	○	外出する機会を多くもてるよう支援していきたいです。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望者には応じています。	○	手紙を書くことができなくなっているため、代筆し、お手紙など出せるよう支援していきたいです。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間を設けることなく、自由に来所してもらっている。居室にて談笑され、楽しい一時を過ごされているようです。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っていません。		今後も身体拘束をしないケアをしていきたいです。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		必ず一人はフロアにいるようにしています。居室にいる方の巡視も行っております。
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		マニュアルが作成されており、職員は把握できています。事故がおきないよう気をつけてケアしています。
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	訓練を行っていないので、定期的に行えるようにしたい。
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		訓練の時は良くできていても、実際になると難しいと思う。火災を出さぬよう気を付けております。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>		<p>状態に応じて、その都度、家族へ連絡し対応を話し合っている。</p> <p>起こり得るリスクについて、家族へ説明し、納得していただいております。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		<p>異常の早期発見には努力している。申し送りを徹底し、早期に対応できるようにしている。入居者の一人一人の身体状態を記録しておくようにしてある。</p> <p>体調の変化に気付いた時は、速やかに対応しております。</p>
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		<p>新たに処方変更があった時は、連絡ノートを使用し、記録・申し送りを行っている。入居者が確実に服用できているか見守り服薬確認している。</p> <p>処方の変更の際には、申し送りノートへ記入し、全スタッフが把握しております。</p>
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	○	<p>排便チェックを行い、水分を多くとるよう又食物繊維の多い物、乳製品の摂取をして頂く。状態に応じて運動・マッサージも行っている。</p> <p>薬に頼らず、食事・水分量・運動などにて自然排便があるようにしていきたい。</p>
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		<p>毎食後、口腔ケアを施行しております。</p> <p>毎食後、口腔ケアの声かけ・誘導をする。</p>
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		<p>利用者一人ひとりの体調や状態に合わせて、主食をおかゆにしたり、副食を刻んだりしています。</p> <p>1日を通して、食事量・水分量を記録しています。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染予防委員会を設け、予防や対応について勉強会を開き、全スタッフに全体会議で発表している。		感染予防マニュアルを作成し、感染予防に努めています。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具（フキン・まな板）は毎日消毒を行い、食材は毎日必要な分だけを購入してきている。	○	消毒などのチェック表を作成し、施行チェックを行っていきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	インターホンでの対応は親切・丁寧を心がけ、玄関周りは明るい雰囲気づくりを心がけている。	○	利用者・家族・近隣の方々が親しみやすいホーム作りをしていきたいです。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったり、壁の掲示物にも季節感を採り入れるようにしています。	○	玄関など装飾品などによってできるだけ家庭的な雰囲気がだせるようにしたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室・食堂等にて、思い思いに過ごされております。		自室が個室となっている為、一人で自由に生活できる。食堂・和室などで会話・お茶を飲んだりしている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>家族にも協力してもらい、居心地のよい居室作りをしていきたい。</p>
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		<p>一日一回は窓を開け、換気しています。</p>
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		<p>段差・転倒の危険のある浴室での声かけ・見守りの徹底。</p>
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		<p>場所の間違いがおきないように、表札・目印をつけて対応する。</p>
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		<p>施設前は畑になっており、収穫を楽しんでいただいています。</p>

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

隣接するショートステイ・デイサービスがあり、他のサービスを利用される方々と接することができ、新たな交流をもつことができます。